

# 道徳学習指導案

日時 平成23年11月18日(金) 5校時

場所 湖南省立甲西北中学校 2年1組教室

2年1組 男子23人 女子19名 計42名

指導者 教諭 菊池誠二

1. 主題名 「感謝を表す」 (内容項目: 2—(6))
2. 資料名 「バスに乗って」 出典「明日をひらく2」(東京書籍)
3. 主題設定の理由

## 【ねらいとする価値】

人は一人では生きられず、多くの人々の善意や支えにより、日々の生活が成り立っている。そして、そのことで現在の自分があることを踏まえ、それに対する感動や喜びが自ずと感謝の心となって表出されるものであることについて理解を深めさせることが大切である。そこで、他者の親愛なる善意に対して感謝の気持ちを素直に伝えようとする心が、今自分が他者に対して何を持って応答できるかを考えさせたい。また、周りの人たちの多くの支えがあって今日の自分があることに気づき、感謝の気持ちを持つと共に、素直にその気持ちを伝えようとする心や、表現することの大切さを伝えたい。

## 【生徒の実態】

中学生の時期は、人に対する見方や考え方が深まり、人は互いに支え合い力を合わせて生きていることを理解してきている。また、自立心の強まりとともに日々の生活の中で自己を支えてくれている多くの人の善意や支えに気づく一方で、感謝の気持ちを素直に言葉や行動にして伝える難しさも感じている。本学級も、友達の善意や支えに気付いていないところや、家族や友達の言葉や行動に対して感謝の気持ちを持っているが、積極的に言葉や行動として感謝の気持ちを表現しようとしないうところがある。そこで、周りの多くの人たちの支えに思いを及ぼし、感謝の気持ちを持つとともに、相手に素直に思いを表現しようという思いを育てたい。

## 【資料について】

小学五年生の少年が、ぶっきらぼうなバスの運転手と出会い、その関わりから、父母の支えやその運転手の善意や支えに気づいていき、それによって得られた勇気や元気をもとに、感謝の気持ちをけなげに精一杯あらわそうとする姿を描いている内容である。

少年の気持ちを通してぶっきらぼうな運転手ではあるが、少年の思いをくんで運賃を入れてくれた運転手の善意に気づき、感謝の気持ちを表現しようとしたことから感謝の心は他の人とのかわりに始まり多くの人への感謝に広がっていくことに気づかせたい。

4. 研究主題「人とのかわわりを大切に、豊かな心を育てる道徳教育」によせて

中学2年生のこの時期は思春期を迎え、言いたいことも素直に表現できず、かえって距離をとったり突っぱねたりすることも少なくない。そのような態度がきっかけで誤解が生じたり、人との関係を崩したりし、後悔し、悩む生徒も多い。自分の気持ちを素直に伝えることがいかに大切かということ、道徳の授業のなかでペア学習を通してお互いの気持ちを交流させ、相手の善意に気づきその感謝の気持ちをどのような行動につなげていけばよいのかを考える。

5. 本時のねらい

周りの人々の善意と支えによって自分の生活が成り立っていることに気づき、そのことに対する感謝の気持ちを表そうとする心を育てる。

6. 本時の展開

段階	学習活動（主な発問）	生徒の思い	教師の支援と評価
導入	<p>1 写真を見て話し合う。</p> <p>○10年近くボランティアで活かしておられる昇降口の花をどう思うか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごいことだと思う</li> <li>・自分にはできない</li> <li>・感謝している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝しているがその思いを伝えられていないことから本時のねらいとする価値への方向付けとする。</li> </ul>
展開 前段	<p>2 資料「バスに乗って」を読んで、少年の気持ちについて話し合う。</p> <p>○ほおを赤くしている時の少年の気持ちはどのようなようだったか。</p> <p>○小銭の落ちる音が聞こえた時、少年はどんな気持ちだったか。</p> <p>◎回数券に書いた「ありがとう」に続く言葉を考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんでそんな風にいわれなあかんの</li> <li>・人に迷惑かけてない。</li> <li>・僕が先なのになんで後回しなの</li> <li>・早くバスから降りたい</li> <li>・二度とこの人のバスに乗りたくない</li> <li>・嫌な運転手だ</li> <li>・最後の回数券は使わなくてよかった、助かった</li> <li>・僕の気持ちがわかってもらえた</li> <li>・今まで運転手さんを誤解をしていた</li> <li>・運転手の気持ちがうれしい</li> <li>・僕のことを気にかけてくれていたんだ</li> <li>・お金を入れてくれてありがとう</li> <li>・お母さんが退院しました</li> <li>・いろいろ注意してくれてありがとう</li> <li>・僕のことを見ていてくれてありがとう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容把握のために教師が範読する。</li> <li>・運転手の思いを素直に聞けない少年の気持ちに気づかせる。</li> <li>・場面絵を用いることで運転手に対する嫌悪感に気づかせる。</li> <li>・小銭の落ちる音を聞かせ、見ず知らずの運転手であったが、少年を気にかけて支えていることに気づかせる。</li> <li>・回数券に書かれた「ありがとうございました」の絵を使ってワークシートに書かせる。その後ペア学習でお互いの意見を交流させ、運転手に対する様々な感謝の気持ちを考えさせる。</li> <li>☆運転手への感謝の気持ちが考えられたか。(ワークシート)</li> </ul>
展開 後段	<p>3 自分の今までの生活を振り返る。</p> <p>○今「ありがとう」を伝えたい人を思い浮かべ、その人にどのような気持ちを込めて伝えますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも部活の応援に来てくれる母に健康には気をつけてね</li> <li>・合唱コンクールで頑張った指揮者に、学級のために頑張ってくれてありがとう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書かせる。</li> </ul>
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝の気持ちを表現することの大切さにかかる教師の体験談を話す</li> </ul>